

人気原作コミック

全国書店にて大好評発売中! フランスで10万部越えの大ベストセラー。11か国で翻訳出版され、各国の女性たちの心を揺さぶった感動のコミックです。映画とは違う衝撃のラストも必見!

著者:ジュリー・マロ 訳:関澄かおる
定価:(本体2,200円+税)
発行:DU BOOKS(ディスクユニオン)



PAUL

プレゼントキャンペーン

フランス北部の町リールに生まれた老舗PAULより、125周年記念トートバッグと商品券のセットをプレゼント! 映画公式Facebookで「いいね!」をしてくれた方の中から期間限定の抽選です。詳しくは映画公式Facebookで。



www.pasconet.co.jp/paul/

エリコネイル

割引&プレゼントサービス

ご予約の上、映画鑑賞券半券のご提示で、はじめてのお客さまには合計金額より20%OFF、また施術を受けていただいた全員にネイルオイル(モア)をプレゼント。期間:4月5日(土)~5月31日(土) 都内4店舗にて実施: erikonail OMOTESANDO erikonail GINZA erikonail HIROO erikonail SHINJUKU



www.erikonail.com

ルミネ有楽町

割引&プレゼントサービス

映画鑑賞券半券のご提示で、8Fレストラン【バルパルミュウ】ではランチタイムはランチデザートサービス。カフェタイム・ディナータイムは、お食事お召し上がりでお会計10%OFF。【京都石堀小路 豆ちゃ】ランチはお好きなおやつ1皿をプレゼント。ディナーはお食事後にお抹茶をプレゼント。



LUMINE YURAKUCHO

第1弾 ご来場者プレゼント

初日(5日) Bunkamuraル・シネマ、ヒューマントラストシネマ有楽町にご来場の先着75名様にメイクアップフォーエバーのメイクセットをプレゼント! アクアアイズミニサイズ(ウォーターブルーファイライナーペンシル)& センズアイズパウチサイズ(ボイントメイククレンザー) 提供:メイクアップフォーエバー



第2弾 ご来場者プレゼント

二日目(6日) Bunkamuraル・シネマ、ヒューマントラストシネマ有楽町にご来場の先着75名様に香りのインテリアアイテム、デコラバルファム フレグランスオーナメントをプレゼント!(スイートジャスミン、ビュアローズ、クラシカルムスクよりどれか1種。香りはお選びいただけません。) 提供:グローバルプロダクトプランニング



ナディッフ

書籍コーナーを展開

美術書を中心にデザイン雑貨なども扱うブックショップ、ナディッフの下記店舗にて、原作コミックを中心としたコーナーを展開。【渋谷】Bunkamura内、ナディッフ モダンバンドデザイン特集【恵比寿】東京都写真美術館内、ナディッフ バイデン:本作中で登場する画家の関連書籍などプレチカルチャー特集

www.nadiff.com/home.html



NADIFF modern x 10

アデル、ブルーは熱い色

アデル&レア 史上初の パルムドール女優

主演のアデル・エグザルコプロスとレア・セドゥはカンヌ国際映画祭史上初、ケシシュ監督と共にパルムドール(最高賞)を受賞。二人揃ってMIU MIUの広告キャンペーンにも起用され、世界各国のメディアに登場した、今もとても熱いフランス女優!

adele-blue.com

【公式Facebook】www.facebook.com/adelebluemovie 【公式Twitter】@adelebluemovie

監督・脚本:アブデラフィ・ケシシュ 原作:ジュリー・マロ「ブルーは熱い色」(発行:DU BOOKS)

出演:レア・セドゥ「イングロリアス・バスターズ」、アデル・エグザルコプロス、サリム・ケシシュ、モナ・ヴァルラヴェンほか

原題:LA VIE D'ADELE CHAPITRES 1 ET 2 / 2013年 / フランス / フランス語 / 179分 / ヴィスタ / 日本語字幕:松岡葉子

後援:フランス大使館、アンステティチュ・フランセ日本 / 協力:ユニフランス・フィルムズ

配給:コムストック・グループ / 配給協力:キノフィルムズ / 宣伝協力:セテラ・インターナショナル / 宣伝協力:テラザ・プリマ・ステラ

© 2013 WILD BUNCH - QUAT'S SOUS FILMS - FRANCE 2 CINEMA - SCOPE PICTURES - RTBF (Télévision belge) - VERTIGO FILMS



R18+ 映倫

4.5 (土)よりロードショー

★印の劇場では特別鑑賞券¥1,500 (当日一般¥1,800の如)を販売しています。

【東京】T・ジョイ大泉 03-5933-0147 【神奈川】109シネマ湘南 0466-34-0109 【埼玉】MOVIXさいたま 048-600-6300 【千葉】T・ジョイ蘇我 043-209-3377 / シネマイクスピアリ 047-305-3855 【栃木】MOVIX宇都宮 028-657-6200 【新潟】T・ジョイ新潟万代 025-242-1840 【広島】広島バルト11 082-561-0600 / シネツイン本通り 082-241-7711 【福岡】T・ジョイ久留米 0942-41-8250 順次公開 【北海道】苫小牧シネマ・トラス 0144-37-8182 【青森】フォーラム戸戸 0178-38-0035 【岩手】フォーラム盛岡 019-622-4770 【宮城】フォーラム仙台 022-728-7866 【山形】フォーラム山形 023-632-3220 【福島】フォーラム福島 024-533-1717 【静岡】シネ・ギャラリー 054-250-0283 / シネマe.ra 053-489-5539 【長野】塩尻東座 0263-52-0515 【石川】シネモント 076-220-5007 【奈良】MOVIX橿原 0744-21-1700 【鳥根】T・ジョイ出雲 0853-24-6000 【愛媛】シネマサンシャイン大街道 089-933-6677 【大分】T・ジョイパークプレイス大分 097-528-7678 【鹿児島】鹿児島ミッド10 099-812-6662

★ 新宿三丁目駅C4番出口 マルイアネックス9階		★ 渋谷・東急本店ヨコ		★ 有楽町イトシア イトシアプラザ4F	
新宿バルト9		Bunkamuraル・シネマ		ヒューマントラストシネマ有楽町	
03(5369)4955 wald9.com		03(3477)9264 www.bunkamura.co.jp		03(6259)8608 www.ttcg.jp	
【神奈川】		【愛知】★		【大阪】★	
横浜ブルク13	109シネマズ川崎	伏見ミリオン座	梅田ブルク7	シネマート心斎橋	
045-222-6222	0570-007-109	052-212-2437	06-4795-7602	06-6282-0815	
【京都】★		【福岡】★		【北海道】★	
T・ジョイ京都	シネ・リーブル神戸	T・ジョイ博多	ディノスシネマズ札幌劇場		
075-692-2260	078-334-2126	092-413-5333	011-221-3802		



PALME D'OR 2013 CANNES FILM FESTIVAL

第66回カンヌ国際映画祭
パルムドール(最高賞)受賞
世界の映画賞を席巻
ゴールデングローブ賞、ノミネート他
166ノミネート・61受賞

映画がはじまった瞬間から、
深い愛に胸が締めつけられる。

ステイヴン・スピルバーグ

(第66回カンヌ国際映画祭審査委員長)

それは、誰にでも起こるかもしれない、たった一度の真実の恋。



PALME D'OR 2013
CANNES FILM FESTIVAL

第66回カンヌ国際映画祭
史上初パルムドール(最高賞)が3人の手に!

アデル・エグザルコプロス × アデル・エグザルコプロス × レア・セドゥ

ヤベえ、すっげー染みる、
痛いほどに、自分のことのように。

魚喃キリコさん

[漫画家]

私の心を揺すらないで!! 美しすぎる絡み。
アデル貴女が愛おしい。エマ貴男を失いたくない。
束の間のプラトニック。

萬田久子さん

[女優]

どうしてもどうしてもどうしても
ぬぐってもぬぐってもぬぐっても
忘れられない人がいるということを知りました。

河瀬直美さん

[映画監督]

愛が“性”を超えた、恋愛映画の新たな傑作。
ヒロイン・アデルの演技は、まさに奇跡!!

弓山奈穂実さん

[ELLE JAPON フェューチャー・ディレクター]

まるで彼女達と同じ空気を吸い、
匂いまでしてきそうな描写に、切なく酔わされます

TAOさん

[モデル/女優]

日常にすり減ってしまった私たちの感性を、
再び魔法のようによみがえらせてくれる映画です。

伊藤さや香さん

[Numéro TOKYO エディター]

恋だとは信じていなかった...

アデルが運命的に出逢ったのは、ブルーの髪の画家エマ。

二人の女性の激しくも切ない愛の日々を描く感動のラブストーリー。

あの時から、
生きることは喜びになった——

恋愛で味わう全ての体験をアデルと一緒にしていく映画。
見終わって「だからこそ恋愛は素晴らしい」と思った。

ぐっどういる博士さん

[恋愛カウンセラー/理学博士]

ふたりの女優がすれ違い視線をかわした瞬間から、
こちらまで何か穴のようなものに落ちたような気分に陥り、
そこからはもう作品の強さに引き込まれるだけでした。

井戸川恵子さん

[CREA 副編集長]

愛することは生きること。
この愛に、レズビアンなんて名前、いらない

東小雪さん

[LGBTアクティビスト/元宝塚歌劇団]

男と女という異性、そして女と女もやはり異性であり、
そこには愛の事件もあることを、この映画は美しく実証する。

宇野亜喜良さん

[イラストレーター]

恋愛の始まりから終わりを究極に美しく、ミニマルに描いた作品。
自分ではない他者との深く本能的な歩み寄りの過程は
男女であろうと同性であろうと無関係に感動する。

佐々木真実さん

[アダム エ ロベ バイヤー]

あろうことか自分も“青い髪の女”の虜になっていた。
未知なる感覚に取りこまれる麻薬的な映画。

齋藤薫さん

[美容ジャーナリスト/エッセイスト]

(順不同)